進 路 だ よ り

北海道栗山高等学校
進路指導部通信
令和3年12月20日

日頃より、本校の教育活動に御理解・御協力いただきましてありがとうございます。
１０月から１２月まで行った進路関係の主な行事についてお知らせいたします。

１０月２８日（木）　　１学年大学見学・進路相談会

１０月２８日に、１学年の生徒を対象に大学見学・進路相談会を行いました。午前中は江別にある札幌学院大学を訪れました。経済経営学部が新札幌の校舎に移転したことなど、大学の概略や近況などの説明を受け、人間科学科の新田雅子先生による「大学で学ぶ社会福祉・ソーシャルワーク」の模擬授業を受講しました。個人や家族では解決できない生活上の課題を社会的に解決する仕組みや実践（ソーシャルワーク）のアセスメント（問題把握と見立て）について、映像を使って学びを言語化する授業でした。大学の授業は少し難しい部分もありましたが、映像を見ることで人々の具体的な生活を理解し立場や関係性のなかでその生活を理解することの大切さを学びました。

模擬授業後、大学の施設を見学した後、学生食堂を使わせていただき昼休憩を取りました。多くの生徒が食堂でお昼ご飯を注文し、つかの間の大学生気分を味わいました。

午後は栗山町に戻り、カルチャープラザ Eki で進路相談会に参加しました。各大学・短期大学、専門学校の広報の方々から、それぞれの学校についての説明を直接聞き、わからないことは質問することもできました。計３つの学校の話を聞き、生徒は各学校について理解を深められたようです。

１１月３０日（火）　１・２年生進路分野別ガイダンス

今年度の進路分野別ガイダンスは、星槎道都大学から４名の講師を招いて、それぞれ次のテーマでお話を伺いました。

経済学部　遠藤先生	「夢をかなえ、目標を達成するための考え方」
社会福祉学部　吉井先生	「保育・福祉のしごと」
入試広報課　津田様	「相手側から求められている志望理由書の書き方」
入試広報課　小松田様	「大学進学について　今、なぜ大学進学が伸びているのか」

以前は各種大学・専門学校から講師を招き、およそ１０の分野で実施していましたが、まだコロナの状況が完全に収まっておらず、今年の実施は難しいのではないかと危惧していました。依頼校を星槎道都大学の１校に絞り４名の方に来ていただきまして、なんとか実施することができました。外部の方の話を聞く機会をいただき、生徒は新鮮な気持ちで話を聞いていました。今回のお話が生徒の今後の進路に生かされるよう、より一層手助けしていくつもりです。

１２月９日（木）　進路ミュージカル

滋慶学園グループの「札幌ミュージック＆ダンス・放送専門学校」と「札幌デザイン＆テクノロジー専門学校」の２校の主催による「進路ミュージカル」が本校では２年ぶりに行われました。このミュージカルは、高校生が楽しみながら観劇し、進路について考える内容になっています。前回も生徒には非常に好評でしたが、今回も多くの生徒が演劇に見入り、演者が進路について悩む様子を自分と重ね、様々に考えを巡らせたようでした。生徒の感想の１部を御紹介します。

・自分が本当にやりたい夢はあきらめていたので、また考えるきっかけをもらいました
・今やりたいことが明確になっていなくても、自分のささいな行動で少しずつ進路が見えてくるんだなと思った
・とても素敵な時間でした　声量もすごくて歌や踊りも上手で、皆さんの迫力ある演技に感動しました　ずっと見ていたいほど楽しい時間を送れたと思います
・自分から無理と決めつけるのはよくないと思った
　どんな道に進んでも必ず壁にはぶつかるらしいから、
　それを打ち壊せるようになろうと思った
・いろいろな人に支えられながらも自立していこうとする
　キャラクターの姿に感動した